

**2019年3月期
決算説明資料**

名古屋鉄道株式会社

2019年5月10日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2018年度	2017年度	増減	(対前期)	2月公表値	増減
営業収益	622,567	604,804	17,763 (2.9)	流通 +7,778 運送 +4,672 その他 +3,277 不動産 +2,854 航空関連サービス +2,324 交通 +615 レジャーサービス △814	619,000	3,567 (0.6)
営業費用	573,112	557,827	15,284	商製品売上原価 +6,677 燃料費 +1,655	571,500	1,612
営業利益	49,455	46,976	2,479 (5.3)	航空関連サービス +850 不動産 +802 交通 +437 レジャーサービス +286 運送 +278 その他 +41 流通 △81	47,500	1,955 (4.1)
経常利益	51,599	48,566	3,033 (6.2)	営業外収益 +72 営業外費用 △481	49,000	2,599 (5.3)
特別利益	5,013	3,456	1,556	負のれん発生益 +1,078 固定資産売却益 +524	4,500	513
特別損失	10,492	6,606	3,886	固定資産売却損 +5,555 減損損失 △2,419	8,000	2,492
親会社株主に帰属する 当期純利益	30,457	28,691	1,765 (6.2)		29,000	1,457 (5.0)

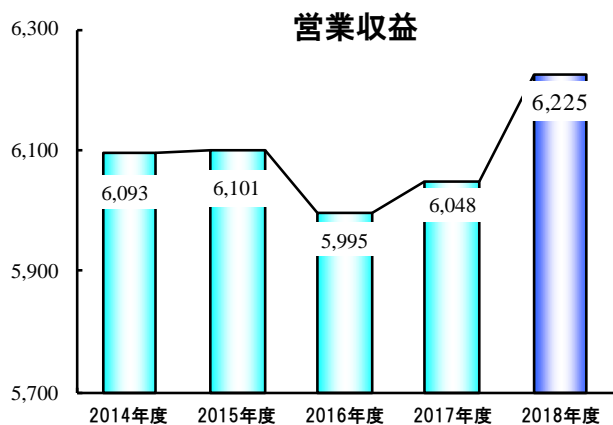
◆主な増減要因（対前期）◆

- 営業収益 : 【増収】 流通事業や運送事業などの増収に加え、鉄軌道事業における輸送人員の増加が寄与。
- 営業利益 : 【増益】 燃料費は増加したものの、増収により増益。
- 経常利益 : 【増益】 営業増益に加え、支払利息の減少などにより営業外損益が改善。
- 親会社株主に帰属する
当期純利益 : 【増益】 固定資産売却損の増加など特別損益は悪化したものの、経常増益により増益。

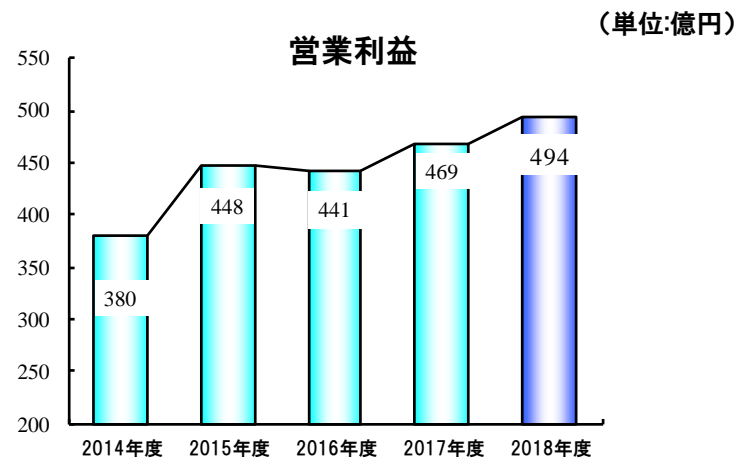
- 《連結子会社数》 : 117社 (増加 2社) 名鉄協商パーキングWEST (新規加入)、栄開発 (区分変更)
(減少 4社) 北陸名鉄急配 (被合併)、名鉄協商パーキング (被合併)
名鉄バス中部 (被合併)、名鉄バス東部 (被合併)
- 《持分法適用会社数》 : 15社 (減少 1社) 栄開発 (区分変更)



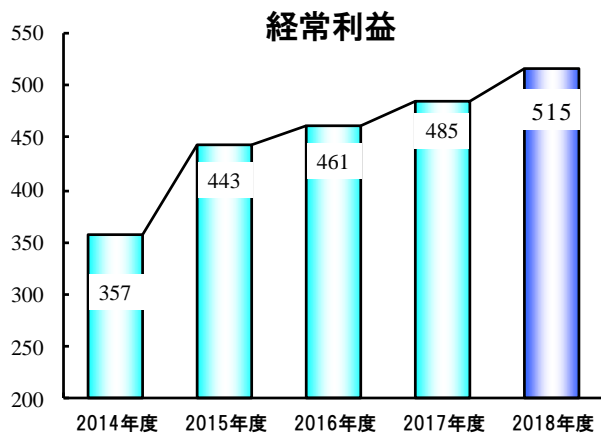
連結業績の推移



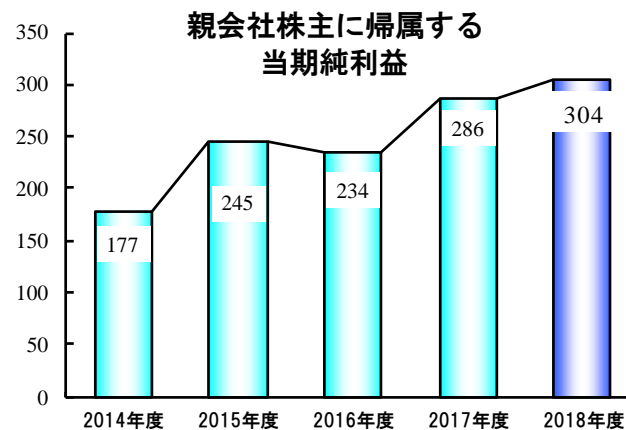
2期連続増収



2期連続増益



9期連続増益



2期連続増益

セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	2018年度	2017年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	167,660	167,045	615	0.4	鉄軌道事業における輸送人員の増加により増収
運送事業	136,863	132,191	4,672	3.5	トラック事業における運賃単価の上昇を主因に増収
不動産事業	92,013	89,158	2,854	3.2	賃貸事業における駐車場数の増加や新規賃貸物件の収益寄与に加え、分譲マンションの販売引渡戸数の増加により増収
レジャー・サービス事業	53,419	54,234	△ 814	△ 1.5	名鉄インの新規出店やセントレアホテルの新棟開業などによりホテル業では増収となったものの、観光施設事業における子会社譲渡などにより、全体では減収
流通事業	142,231	134,453	7,778	5.8	建設資材取扱の増加や石油販売価格の上昇により増収
航空関連サービス事業	27,570	25,245	2,324	9.2	ヘリコプター事業や調査測量事業に加え、機内食事業での受注増加などにより増収
その他の事業	48,012	44,735	3,277	7.3	設備工事の受注増加などにより増収
調整額	△ 45,204	△ 42,260	△ 2,944	—	
合計	622,567	604,804	17,763	2.9	

営業利益	2018年度	2017年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	24,379	23,942	437	1.8	燃料費は増加したものの、鉄軌道事業における増収により増益
運送事業	5,968	5,690	278	4.9	燃料費や人件費は増加したものの、増収により増益
不動産事業	11,404	10,602	802	7.6	増収に加え、分譲事業における販売経費の減少などにより増益
レジャー・サービス事業	1,796	1,509	286	19.0	観光施設事業における収支改善などにより増益
流通事業	1,185	1,266	△ 81	△ 6.5	輸入車販売業における利益率の悪化などにより減益
航空関連サービス事業	2,803	1,953	850	43.6	増収による増益
その他の事業	1,627	1,585	41	2.6	新規事業拡大に伴う費用が増加したものの、増収により増益
調整額	290	426	△ 136	—	
合計	49,455	46,976	2,479	5.3	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年度末	前期末	増減額	コメント
流動資産	182,665	178,036	4,629	受取手形及び売掛金の増加
固定資産	958,509	942,585	15,923	
有形固定資産	804,926	789,302	15,623	設備投資による増加
無形固定資産	10,779	8,804	1,974	
投資その他の資産	142,803	144,478	△ 1,674	保有上場株式の時価下落による投資有価証券の減少
資産合計	1,141,174	1,120,622	20,552	
流動負債	259,960	259,686	273	
固定負債	456,421	471,380	△ 14,958	長期借入金の減少
負債合計	716,381	731,066	△ 14,684	
純資産合計	424,793	389,555	35,237	親会社株主に帰属する当期純利益 +30,457 剰余金の配当 △5,237 新株予約権行使に伴う新株発行 +11,260 その他有価証券評価差額金 △3,817
負債純資産合計	1,141,174	1,120,622	20,552	
連結有利子負債合計	417,971	445,568	△ 27,596	〔参考〕純有利子負債残高 392,101 (前期末比 △21,877)

個別業績

◆個別損益計算書◆

() は増減率 (単位: 百万円、%)

	2018年度	2017年度	増減	(対前期)	2月公表値	増減
営業収益	109,815	107,843	1,971 (1.8)	鉄軌道事業 +1,799 開発事業 +172	109,500	315 (0.3)
営業費用	86,865	86,133	731	修繕費 +845	86,400	465
営業利益	22,950	21,710	1,239 (5.7)		23,100	△ 149 (△ 0.6)
経常利益	27,815	26,520	1,295 (4.9)	営業外収益 △315 営業外費用 △370	27,500	315 (1.1)
当期純利益	21,530	18,642	2,887 (15.5)	特別利益 △772 特別損失 △2,868	20,800	730 (3.5)

◆名鉄 運輸成績◆

(単位: 百万円、%)

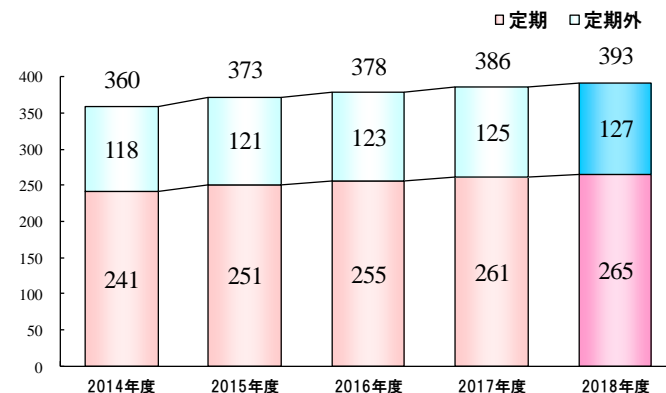
旅客収入	2018年度	2017年度	増減率
定期外	50,357	49,351	2.0
定期	39,733	39,023	1.8
計	90,091	88,374	1.9

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

(単位: 千人、%)

輸送人員	2018年度	2017年度	増減率
定期外	127,444	125,789	1.3
定期	265,792	261,085	1.8
計	393,236	386,874	1.6

輸送人員の推移 (単位: 百万人)



2020年3月期 連結業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2019年度 予想	2018年度	増減	(対前期)
営業収益	635,000	622,567	12,433 (2.0)	不動産 +10,987 運送 +2,737 その他 +2,288 交通 +1,040 航空関連サービス △1,270 流通 △1,131 レジャー・サービス △319
営業利益	48,000	49,455	△ 1,455 (△ 2.9)	交通 △1,579 航空関連サービス △1,403 レジャー・サービス △96 運送△68 不動産 +1,396 流通 +215 その他 +73
経常利益	49,500	51,599	△ 2,099 (△ 4.1)	営業外収益 △864 営業外費用 △220
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,000	30,457	△ 1,457 (△ 4.8)	特別利益 △2,013 特別損失 △3,992
E B I T D A	89,400	89,713	△ 313 (△ 0.3)	※EBITDA：営業利益＋減価償却費
設備投資額	81,100	54,834	26,266 (47.9)	
減価償却費	41,400	40,258	1,142 (2.8)	
純有利子負債	400,000	392,101	7,899 (2.0)	※純有利子負債： 有利子負債－現金・短期有価証券

営業収益は、不動産事業や運送事業を中心に増収を見込み、全体で増収を予想。
 営業利益は、人件費や燃料費の増加を見込むことに加え、鉄軌道事業において修繕費など諸経費の増加を見込み、全体では減益。経常利益は、営業減益に加え、営業外損益の悪化により減益。当期純利益は、特別損益は改善するものの、経常減益により減益となる見通し。



2020年3月期 個別業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2019年度 予想	2018年度	増減	コメント
営業収益	110,700	109,815	884 (0.8)	鉄軌道事業は増収、開発事業は前期並み
営業利益	21,500	22,950	△ 1,450 (△ 6.3)	修繕費など営業費用の増加により減益
経常利益	25,300	27,815	△ 2,515 (△ 9.0)	受取配当金の減少などにより営業外損益が悪化し減益
当期純利益	17,500	21,530	△ 4,030 (△ 18.7)	特別損益の悪化により減益

◆ 1株当たり配当金 ◆

(単位：円)

	2020年3月期 (予想)	2019年3月期
配当金額	27.50	27.50

2019年3月期及び2020年3月期(予想)の配当金には、特別配当2円50銭が含まれております。

連結経営指標 (BUILD UP 2020)

	BUILD UP 2020			2020年度 中計目標
	2017年度 実績(参考)	2018年度 実績	2019年度 予想	
営業利益	469億円	494億円	480億円	500億円
EBITDA (営業利益+減価償却費)	858億円	897億円	894億円	930億円
<参考>				
ROE (純利益/自己資本)	8.5%	8.1%	7.2%	8%程度
ROA (営業利益/総資産)	4.2%	4.4%	4.2%	4%程度
純有利子負債 /EBITDA倍率	4.8倍	4.4倍	4.5倍	5倍程度
株主資本比率	21.6%	24.4%	26.5%	25%程度



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。

